

# 寺報 善巧 ぜん ぎょう

発行

〒938-0862 富山県  
黒部市宇奈月町浦山497  
白雪山 善巧寺  
TEL (0765)65-0055  
FAX (0765)65-0975  
http://www.zengyou.net



本願寺の国宝・唐門

寺  
ごよみ

七月

一日 永代祠堂会

七日 永代祠堂会

一六日 永代祠堂会

二四日 永代祠堂会

寺  
ごよみ

八月

一日 ほつこり法座

一三日 こども盆おどり

一六日 お盆参り

納骨壇法要



## 永代祠堂会

故人を偲びお参りしましょう

七月一日～二四日

五十歳になりました。ちょうど父親が往生した歳です。平成二年九月十七日、当時高校二年生の私はその一カ月前に得度をしました。頭を丸めて得度から帰ってきた私を見てとても喜んでいたことを思い出します。

### 50歳

また三年、ある程度は身のほどを知るようになった頃、妻と出会い結婚しました。その後もいろいろありましたが、なんとか生き延び今に至ります。

人生五十年は、ひと昔前ならば締切りの年です。現代の感覚では働き盛りかもしれません、川の流れが海に向かうように、あきらかに下流にいます。大海へ向かって自覚を持たねばならないと感じています。

父が亡くなってからは祖父と母が住職の役を担い、私も帰省を繰り返しお参りしていました。そのうち祖父も療養生活に入り、平成八年に往生しました。その翌年、私は善巧寺へ入り住職となります。意気込んでいたものの、現実の厳しさに打ちのめされながら三年を過ごし、いつの間にか心が閉じ切ってしまった。再び京都へ行きませんでした。その間、お寺は弟と母が代わりをつとめてくれました。

二年の時を経て、再び善巧寺へ帰り着きました。その二年後に祖母が往生しました。それから

二十代に心が閉じ籠っていた頃、生死について取り憑かれたように考えていました。この想いはどんなに忘れようとしても、きつとある日突然に襲い掛かってくるはずだと思っていました。あの頃からずっとだ、今まさにその時が来

雪山俊隆

# 花まつりマルシェ

四月二十三日

快晴のもと「花まつりマルシェ」を開催しました。去年と一昨年は当日までどうなるかわからないという状態で踏ん張りながらの開催でしたが、ようやく心晴れやかに開催することができました。初参式は十名、七五三は七名が受式されました。

境内では出店が十一店。状況劇団パッチのライブが午前と午後2回行われ大盛り上がりでした。これまでコロナによるストレスがどれほどに大きかったのかを実感しました。



# ほつこり法座

春は写経にはじまり、  
その後は5名のご講師に  
よるさまざまな角度から  
の法話を聞かせていた  
きました。



4/1 写経



4/16 講師：平野明英先生



5/1 講師：飛鳥寛静先生



5/16 講師：菅原智之先生



6/1 講師：奥野寛暢先生



6/16 講師：村井敬成先生



5/17 黒西組団体参拝旅行



4/4 行信講座（常福寺）



3/28 キッズサンガ（法盛寺）



5/21 黒西組慶讃法要（若栗・真照寺）



6/23 清掃奉仕

寺  
ごよみ

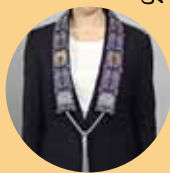
九月

- 六日 音沢報恩講
- 七日 音沢報恩講
- 八日 音沢報恩講
- 一日 音沢報恩講
- 二日 音沢報恩講
- 三日 音沢報恩講
- 四日 音沢報恩講
- 九日 音沢報恩講
- 二〇日 音沢報恩講
- 二二日 音沢報恩講
- 二五日 栗虫報恩講
- 二六日 栗虫報恩講
- 十月二日 栗虫報恩講

ほんこさま

年会費は一万二千元  
をお願いします。

赤いろうそくを灯  
し、門徒式章をお持ち  
ちの方は着用してお  
参りしま  
しょう。



# 永代祠堂会

7月1日(土) 午後一時半

対象命日：1日～6日

7日(金) 午後一時半

対象命日：7日～15日

16日(日) 午後一時半

対象命日：16日～23日

24日(月) 午後一時半

対象命日：24日～31日

ほつしつ法座

八月一日午前十一時



いづも盆おひら

八月十三日



お盆参り  
納骨壇法要

八月十六日午前十時

お盆参りと、納骨壇の  
追悼法要を行います。



しんらんさま



黒部市仏舍利塔には、  
釈迦如来像に並んで、親  
鸞聖人が得度された姿の  
童形像があります。この  
像を寄贈されたのは三重  
県出身の廣瀬精一さん。  
幼い息子さんを亡くされ  
たことをきっかけに親鸞  
聖人の教えに出会い、そ  
の後三十年かけて全国各  
地へ百体もの聖人像を寄  
贈されたそうです。  
極めつけは、広島で被  
爆した聖人像を、アメリ  
カのニューヨーク仏教会  
へ送り設置されています。



合 掌

五月二十一日、親鸞聖  
人の誕生日を最終日に、  
本願寺では慶讃法要が五  
期三十日間つとまりまし  
た。黒部市と魚津市の同  
派寺院の集まり「黒西組」  
では、バス2台で本願寺  
へ団体参拝と、魚津と黒  
部で2回の慶讃法要を行  
いました。いずれも善巧  
寺からは代表数名と参加  
しました。

※ ※ ※

以前お講の食事当番の  
時に「私らこれ死ぬま  
でやらんなんけ」とおっ  
しゃった言葉がずっと耳  
に残っています。これま  
で家も村も寺も維持出来  
てきたのは「子や孫に恥  
はかせられん」と、次  
を任せる人の存在が大き  
な支えになっていたまし  
た。それを失いつつある  
今、何を支えに生きるの  
か。大きな問いが目の前  
にあります。